

小宮山直さん 商工会青年部主張発表大会で最優秀賞受賞

坂城町商工会青年部で、前部長の小宮山直さんが、長野県商工会青年部連合会が主催する「商工会青年部主張発表大会」で最優秀賞を受賞しました。

小宮山さんが青年部部長だった時に、坂城町商工会青年部創立50周年を迎えたことをきっかけとして、コロナ禍でしばらく行われなかった「千曲坂城陣太鼓」を復活させたこと、その発表の場として、歴代の坂城町商工会青年部のOBの皆さんが一堂に会した創立50周年式典で披露したことなどを10分間の持ち時間でスピーチし、見事最優秀となりました。

9月には関東ブロック大会が行われたということで、「主張」を通して坂城町の魅力を多くの皆さんに届けていただきました！



▲(左から) 山村町長、小宮山さん、坂城町商工会青年部 澤崎部長、同会 宮川主任経営支援員

「第69回坂城町二十歳のつどい」を開催



8月15日(木)、リニューアルした文化センターで「第69回坂城町二十歳のつどい」を開催しました。

町内では、平成15年4月2日から平成16年4月1日生まれの125名が20歳を迎えており、そのうち101名の皆さんが式典に出席され、数年ぶりの仲間との再会に嬉しさに抱き合ったり、笑顔で近況を報告してあっていました。



▲実行委員会代表 榊原陽太さん



▲中学校時代の担任の先生



式典では、まず、戦没者の方々への追悼と世界の平和を祈るため黙祷が行われ、その後、二十歳のつどい実行委員会代表の榊原陽太さんがあいさつしたほか、中学校時代の担任の先生からお祝いの言葉や歌が20歳を迎えた皆さんに贈られていました。

今回は、各小学校や中学校時代の写真や動画を集めた「二十歳のつどい記念動画」が作られ、動画が流れると、嬉しさや恥ずかしさ、懐かしさなどのさまざまな感情が込められた「きゃあ〜!!」という歓声が会場のそこかしこで響いていました。

20歳おめでとうございます！

村田俊明様より屏風 2 点をご寄贈いただきました

ご寄贈いただいた屏風は、「男谷燕斎書屏風」と「書画押絵貼屏風」です。村田家が家宝として代々受け継いでこられたもので、町に縁のある文化財を多くの人に知ってほしいと、町にご寄贈いただきました。

男谷燕斎書屏風は、それぞれ「田園楽」と「赤壁賦」という漢詩の一節を大書したものです。作者の男谷彦四郎（燕斎）は、江戸時代後期の幕臣で、文化 11 年（1814 年）に代官として中之条陣屋に赴任しました。能書家でもあり、町にも数々の書が残されています。

書画押絵貼屏風は、日本画と和歌を交互に配置した屏風です。和歌の作者は「道庵山人正香」という人で、各所で目にした風景などが詠まれています。道庵山人がどのような人物か、詳しいことはわかっていませんが、この地の歌人である可能性が高いと考えられます。

どちらも町の歴史や文化を物語る貴重な作品です。大切に保管し、活用していきます。



▲「男谷燕斎書屏風」前で
（左から）白井副町長、山村町長、村田さん、
塚田教育長

坂城中 昭和 54 年度卒業の皆様からご寄附いただきました



▲（左から）山村町長、笠井さん、塚田教育長

坂城中学校を昭和 54 年度卒業した皆様を代表して、当時生徒会長だった笠井識敬さんが、8 月 22 日（木）、役場を訪れ、山村町長と塚田教育長に寄附金を手渡しました。

昭和 54 年度卒業生の皆さんは今年度還暦を迎えるということで、それを記念して 8 月 11 日（日）に同窓会を開催したそうです。同窓会では、現在の坂城中学校の活躍ぶりなども紹介されたということで、参加された皆さんは当時を懐かしむと同時に、現在頑張っている生徒の皆さんを応援したいという想いから、同窓会で集めたお金を母校に寄附してくださいました。

ご寄附ありがとうございます。先輩方のお気持ちを大切に、寄附金を活用します。

北原琥汰朗さん甲子園出場！！ 山崎 優里愛さん全日本ジュニアテニス選手権出場！！

長野日本大学高校 3 年 北原琥汰朗さんは、8 月に開催された「第 106 回全国高等学校野球選手権大会（夏の甲子園）」に長野県代表として出場し、初戦を今大会 4 強となった青森県代表 青森山田高校と対戦しました。結果は 1 対 9 と敗退しましたが、15 年ぶりに出場し力の限りを尽くした北原さん、8 月 21 日（水）に来庁した際には、「甲子園に出ることが夢で頑張ってきた。高校 3 年の間には、自分の中で葛藤することもあったが、チームのために自分のできることは何かを考えて懸命にやってきたので、負けてしまい残念ではあるが悔いはない」とすっきりした表情で話していました。

坂城中学校 2 年 山崎優里愛さんは、7 月に開催された「2024 年度 北信越ジュニアテニス選手権大会（U14・U12）兼 ユニクロ全日本ジュニアテニス選手権大会 2024 北信越地区予選大会」の 14 歳以下で 3 位となり、「ユニクロ全日本ジュニアテニス選手権 2024」出場への切符を手にしたことを報告に来庁し、落ち着いた雰囲気、大会に向けて準備していることを話していました。



▲（左から）山村町長、山崎さん、北原さん
塚田教育長

(株)都筑製作所様から発電機をご寄贈いただきました

8月27日(火)、(株)都筑製作所 栗田有樹 代表取締役社長が役場を訪れ、同社の創業80周年を記念して、町にポータブル発電機5台をご寄贈くださいました。

栗田社長は、「町が開催するイベントに活用してほしい。また、あつては困ることではあるが、災害時などにも役立ててほしい。」と挨拶し、山村町長は「御社の70周年記念時のご寄附に続き感謝している。町は、令和元年東日本台風の際の避難所停電の教訓から、中核避難所に順次太陽光発電設備を設置しているところであるが、それとは別にポータブル発電機があると機動力が高まり、大変ありがたい。」と謝意を伝えました。

(株)都筑製作所様からは、創業70周年記念の際にもポータブル発電機をご寄贈いただいております。町のイベントや操法大会などの際に活用しています。今回ご寄贈いただいたポータブル発電機は前回いただいたものと仕様が異なるため、利用環境により使い分けができます。

ご寄贈ありがとうございました。また、創業80周年おめでとうございます。



▲(左から) 山村町長、栗田社長、白井副町長

坂城町総合防災訓練を実施しました

8月25日(日)、村上小学校で令和6年度坂城町総合防災訓練を実施しました。東海地域を震源とする地震を

想定しての訓練を、村上地区の地区役員や自主防災会の方などが参加して行いました。前日の雨によるグラウンドコンディション不良のため、水防訓練や放水訓練など、一部の訓練は中止としましたが、長野県動物愛護会長野支部のご協力をいただき、今年度は新たにペット同行避難訓練を実施し、ペットとの避難について理解を深めるための場を設けました。

今年は元旦から「令和6年能登半島地震」、8月の宮崎県沖の地震に伴う「南海トラフ地震 臨時情報 “巨大地震注意”」や台風、大雨による災害が多く発生し、人的被害も大きいものになっています。

災害はいつ発生するか分かりません。平时にハザードマップを確認し、各家庭で避難時の行動(マイタイムラインなど)について考えてみませんか。そして、非常時の持ち出し品を保管するなど、災害に備えましょう。



訓練内容

情報伝達訓練(同報系): 町からの避難情報発信および地区内放送

情報伝達訓練(移動系): 自主防災会と災害対策本部との双方向連絡通信

避難訓練: 自宅もしくは公民館から中核避難所への避難

避難所運営訓練: パーテーションや簡易トイレの設営、食料物資受入れなどの避難所の運営

応急手当訓練: 千曲坂城消防本部職員が講師となり応急手当等の講習を実施

災害時公衆無線 LAN 開設訓練: 避難所に無料 Wi-Fi を開設

臨時災害放送局開設訓練: UCV が臨時災害放送局を開設し災害情報等を発信

給水訓練: 長野県企業局上田水道管理事務所による安心の蛇口の設営訓練

ペット同行避難訓練: 長野県動物愛護会長野支部によるペット同行避難についての講習

ハザードマップ
(町HP)



防災マニュアル
(消防庁HP)



マイタイムライン
(国土交通省HP)

